

太鼓と花火の会を開催しました

7月に開催した夏祭りの時間変更に伴い、実施できなかった太鼓5台を使用しての和太鼓演奏と花火を9/28(土)に開催しました。台風の影響で天気の心配があり、当日も雨が降ったりやんだりの不安定な状況が続いていました。太鼓は、園庭で行う予定でしたが、雨がパラパラとしていたのでホールでの実施となりました。

観覧場所をホールから園庭に変えて行った花火では、5つの打ち上げ場所から、90発もの噴射花火があがり、子どもたちから歓声があがりました。そして、最後に20m程のナイアガラの滝花火を、みんなで見つめ、今年の夏が終わっていくのを感じることができました。

太鼓も花火も、保護者のお父さんたちが大活躍してくださいました。太鼓は当日を迎えるまでに、何度も練習し、演奏の流れや隊形移動を覚えてくれました。花火は事前に連絡を取り合い、必要な物を確認してナイアガラのロープが張れるように準備してくださいました。

園で実施する行事を、縁の下で支えてくださる保護者の皆様の力が頼もしく、感謝でいっぱいでした。今年度も残り半年を切りました。これからの行事も、保護者の皆様と園とで一緒に作っていききたいと思っています。よろしくお願いたします。



自然災害から学ぶ

9月初旬、研修で石川に行ってきました。今年1月、石川県能登を襲った大地震は半年経った今も、爪痕を残し、七尾市の温泉街であっても「復旧には、あと3年はかかる。」と言われていました。

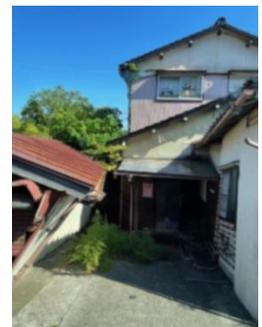
また、地盤の緩い地域ではいまだ地盤沈下によって駐車場の一部が陥没したり、電信柱が斜めになっていたりしました。家屋も玄関に張り紙がされ、「危険家屋」「注意家屋」と被害状況によって、区別されていました。そんな中、襲った9月の台風では、土砂災害等によって二桁の死者数も出たようです。

浜松でも大雨により数日間、一部地域に土砂災害警戒レベル4が発生していました。まつのき保育園も園舎東側にある崖が一瞬、警戒レベル4となり、一斉メールさせていただきました。

浸水や冠水は目に見えて分かりますが、土砂は目に見えない上に、どのタイミングで起こるか分からないため、園では大雨の後は、森に行くのは控えるようにしています。晴れて、登園ができそうな場合でも警戒レベルによっては休園となる可能性もありますことを、ご承知おきください。

石川県への研修に行った際に、金沢市内の園に寄らせていただきました。その園の園長先生が「被害はなかったけれど震度5強の大きな揺れが3分間程続いて、その後も何十回も大きな揺れや小さな揺れがあった。3分間がとても長く感じられた。」「日頃、地震がくる地域と言われていなかったから、大きな地震の備えが十分でなかった。」とおっしゃっていました。

静岡は大地震が起こると言われている地域です。日頃から少しずつ備えをして、災害が起こった時に冷静に対処できるようにしたいと思いました。コロナ禍同様、私たちソーシャルワーカーの業務継続が、災害復旧の大きな力になります。この夏は、地震や台風等の大災害に対して、気を引き締める良い機会となりました。



- ひよこ … 秋の自然に触れながら、探索を楽しもう。
- こりす・りす … 保育者や友だちと一緒にたくさん身体を動かして遊ぼう。
- うさぎ … 保育者や友だちとたくさん身体を動かして遊ぼう。
- あおむし … 友だちと一緒に運動遊びを楽しもう。
- さなぎ … 友だちと一緒にいろいろな運動遊びをしたり、鉄棒など繰り返し挑戦したりすることをしよう。
- ちょう … 友だちと共通の目的に向かって活動する中で、自分の力を発揮しよう。
- 異年齢 … 異年齢の取り組みの中で仲間を意識し、自分の思いや仲間の思いに気付こう。

9月28日（土）大掃除のご参加ありがとうございました。

むすび座の人形劇、
楽しかったね！9/27

演者さんによって命が吹き込まれると、素材一つでも子どもたちの心が動かされ、笑顔が溢れていました。

